

区分・種別	重要文化財(石造美術)		
名称	かめいはちまんじんじゃほうきょういんとう 亀井八幡神社宝篋印塔 1基		
所在地	越智郡上島町魚島		
所有者	亀井八幡神社	管理団体	
指定年月日	昭和29年3月20日		
解説	<p>この宝篋印塔は、もともと亀井八幡神社左方の丘陵上（篠塚公園）に建てられていたが、のち現在地に移したといわれている。</p> <p>2段の基壇上に立ち総高192cm、基壇を含めると238cmの花崗岩製である。地元では南北朝時代の武将篠塚伊賀守の墓として崇敬しているが、造立の沿革についての資料はなく不明である。</p> <p>基礎には格狭間<small>こうざま</small>を3面に彫り、塔身には梵字<small>ぼんじ</small>が刻まれている。笠の四隅にある突起は一枚石で作られている。</p> <p>保存状態はよく、基礎や笠の突起部にわずかな破損がみられる程度である。銘文は読解不能であるが、形式や手法など鎌倉時代末期の特色をよく表わしたものである。</p>		

